

— 具象絵画の新天地 —

第32回

安井賞展



第32回安井賞受賞作品「水曜日」 福田美蘭

'89年4月8日[土]—5月7日[日]

開館時間 午前9時—午後5時(但し毎週金曜日は午後7時まで) ▼休館日は月曜日

入場料 一般 600円(480円) 高大生 400円 小・中生 200円
()内は前売り、団体20名様以上2割引

共催 財団法人安井曾太郎記念会 / 毎日新聞社

高松市美術館
高松市紺屋町10番4号 TEL 0878(23)1711

●第32回安井賞展

“画壇の芥川賞”、具象美術界への登龍門として定評を持つ安井賞展は、昭和32年に洋画壇の巨匠であった安井曾太郎の優れた画業を称えて創設された新人賞です。各美術団体、推薦委員によって1年間に発表された具象的傾向の優秀作品が推薦され、今回は230作家374点が出品されました。そして選考の結果58作家、58点が入選、さらにその中から安井賞には、史上最年少の受賞となった福田美蘭の「水曜日」が、佳作賞には瀬川富紀男の「鏡考-あやとり」が選ばれました。

安井賞を受賞した福田美蘭の「水曜日」は、映画俳優や恐竜に熱帯植物、日本風の庭や見慣れたデパートの包装紙など心にふと引っかかってきた映像の断片をモンタージュ風に構成した作品です。また佳作賞となった瀬川富紀男の「鏡考-あやとり」は、あやとりをする女性の正面と後ろ姿が画面の左右に描かれ、虚実の入りまじった幻想的な世界を描いています。



佳作賞 瀬川富紀男「鏡考-あやとり」

●第32回 安井賞展作品リスト

安井賞 福田 美蘭 「水曜日」
佳作賞 瀬川 富紀男 「鏡考-あやとり」

入 選

阿部直昭 彩壁 I
安達博文 左側の女
相田幸男 タイム・アウト：アリスの休日
青木芳昭 たどられた記憶一花
伊藤清和 残響 2
伊藤育子 伝言 (TO WATARU)
伊波光雄 チューリングゲンの屋根
井上 武 都市の構造
石垣定哉 赤い橋の見える風景
市川伸彦 ウオトシ
小田善郎 火口にて (No.5)
太田國廣 百花翹う
金森宰司 ライフ「人形使い」
黒田克正 K氏の休日
黒田 勝 EMIKA 88-1
小林 正 父の日
甲田洋二 O氏の場合 88-3
近藤大志 反射率39%の重複視 -ICECREAM-
佐藤一郎 勉強
佐藤幸代 ゲーム
佐藤泰生 ベニス (サンマルコの鳩)
齋藤 研 変容
斎藤吾朗 乳母車のおばあさん
斉藤博之 咆哮
坂田哲也 雪節の村
迫田嘉弘 浜B
鈴木秀明 地
瀬戸英樹 枯れた大地

田川 弘 Mediums
田中圭一 作品'88-X
智内兄助 雑記る
土嶋敏男 人と物 (光・闇)
橋本 光 Japan ~Dream <PM>
初田 隆 境界ユメの断片
福岡奉彦 上越鳥話 II
福島まゆみ アンデルセンの童話に寄せて-倉の中の赤い靴
福田玲子 土の静物
藤井高志 トロイメライ
藤原 護 Otonomie A
保ヶ淵静彦 猫
堀 晃 刻を越えて (II)
本田希枝 手品師
圓尾博一 ヘルプ
三浦 泉 冬の日
宮崎浩行 鉱床の辺り
村岡顕美 光景
村山きおえ 聖堂
森田康雄 まだ……
森茂独晶 生きる
安原竹夫 ほどける風景シリーズ「みんないっしょ」
山口 都 都市
山村博男 アトリエの中で
吉井 章 ジバング・ボーイ
吉岡正人 夜の散歩
輪島進一 食祭にてA
若井良一 待春 (IV)

●次回の展覧会

第20回 日展
5月20日(土)~6月11日(日)
伝統ある総合美術展の第20回日展を県文化会館と2会場で開催します。